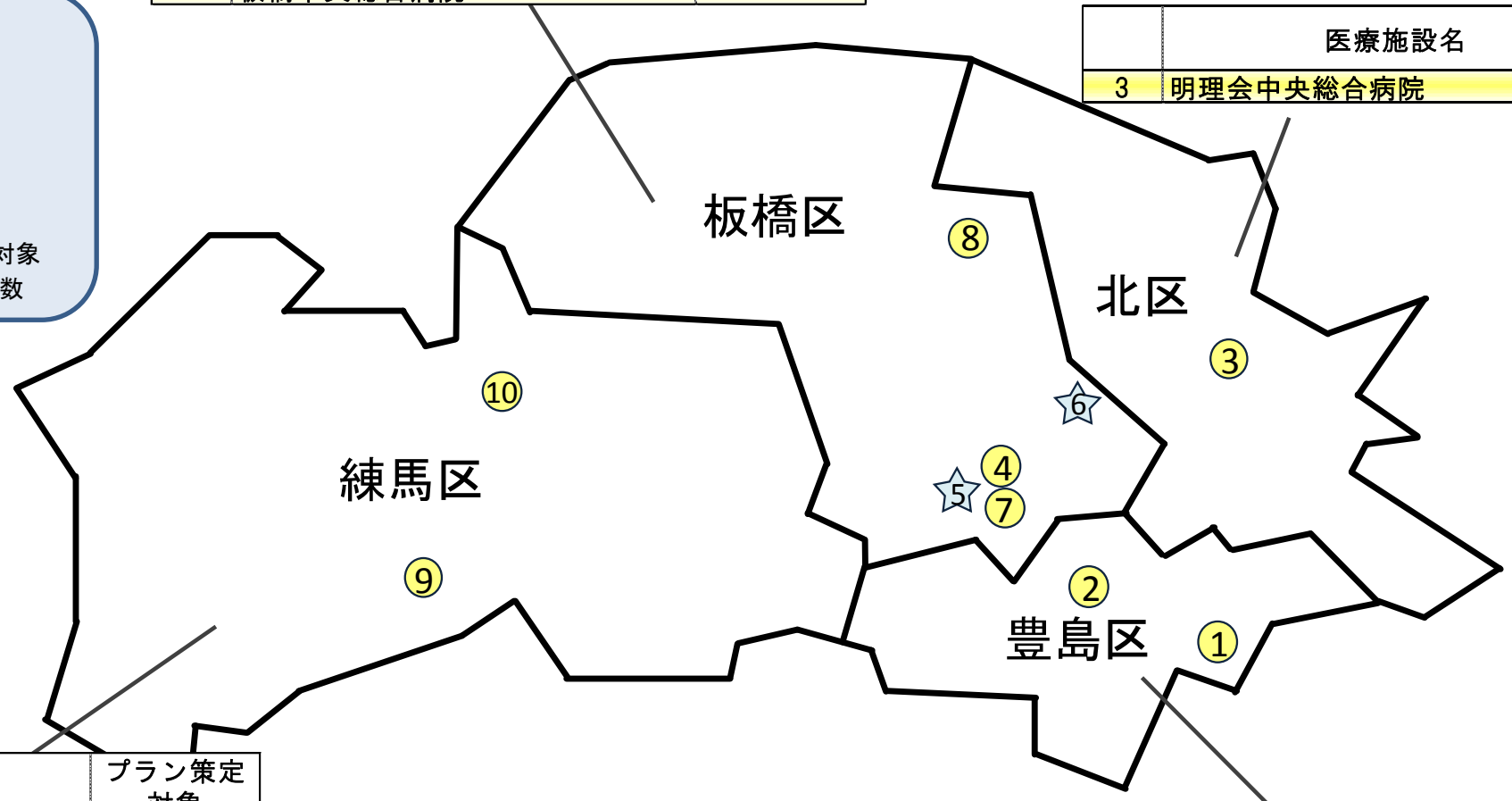


主な医療機関  
区西北部

	医療施設名	プラン策定対象
4	豊島病院	○
5	日本大学医学部附属板橋病院	○
6	帝京大学医学部附属病院	○
7	東京都健康長寿医療センター	○
8	板橋中央総合病院	

凡例

- ☆ 特定機能病院・救命救急センター
- ◎ 特定機能病院
- 救命救急センター
- その他（一般300床以上、プラン策定対象病院）  
※病床は許可病床数



	医療施設名	プラン策定対象
3	明理会中央総合病院	

	医療施設名	プラン策定対象
9	順天堂大学医学部附属練馬病院	○
10	練馬光が丘病院	

	医療施設名	プラン策定対象
1	大塚病院	○
2	長汐病院	

<2025年の医療需要>

機能 (医療資源投入量)	高度急性期機能 (3,000点~)	急性期機能 (600~3,000点)	回復期機能 (175~600点+回りハ)	慢性期機能 (~175点)
患者数	1,384(人/日)	4,300(人/日)	4,391(人/日)	2,895(人/日)
病床数の必要量	1,845(床)	5,513(床)	4,879(床)	3,147(床)

<平成28年度病床機能報告>

機能 (自己申告)	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
病床数	2,753(床)	6,226(床)	1,507(床)	3,193(床)
病床稼働率	85.4(%)	83.8(%)	87.2(%)	88.1(%)
平均在院日数	9.5(日)	13.3(日)	56.1(日)	185.3(日)

<平成29年度までの調整会議における議論の到達点>

地域の特徴

- 高度急性期から慢性期機能まで全ての機能で流出
- 中小病院の割合が高い
- 回復期機能において病床稼働率が低い
- 急変時やレスパイトの受入れを求める声

課題

- 限りある圏域内の医療資源を有効に活用していくため、圏域内の連携を強化する取組が必要

解決に向けたキーワード

- ICT・ネットワーク化
- 顔の見える関係・連携

<地域医療構想推進事業>

地域医療構想推進事業を活用して整備された病床(カッコ内は補助対象病床)

	病院名	所在
1	東京腎泌尿器センター大和病院	板橋区
	地域包括ケア病床（42床）	
2	浩生会スズキ病院	練馬区
	地域包括ケア病床（48床）	
3	リハビリパーク板橋病院	板橋区
	回復期リハビリテーション病床（110床）	
4	ねりま健育会病院	練馬区
	回復期リハビリテーション病床（50床）	

<プラン策定対象病院>

		病院名	所在区市	特定機能病院	地域医療支援病院	指定状況										平成28年度病床機能報告における病床数					将来的に目標とする病床数							
						救命救急センター	こども救命	指定二次救急医療機関	小児救急医療機関	災害拠点病院	CCU医療機関	脳卒中	t-PA	がん	小児がん	周産期センター	周産期連携病院	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等	
39	区西北部	1 大塚病院	豊島区					●	●	●		●	●			●		59	411	38			59	411	38			
40		2 公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院	板橋区		●			●	●	●	●	●	●			●		20	390				20	390				
41		3 日本大学医学部附属板橋病院	板橋区	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			982										
42		4 帝京大学医学部附属病院	板橋区	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		1035						1007	24			
43		5 東京都健康長寿医療センター	板橋区					●		●	●	●						199	301	20								
44		6 順天堂大学医学部附属練馬病院	練馬区		●			●	●	●	●	●	●			●		10	390					41	449			

※CCU医療機関：東京都CCUネットワーク加盟施設 / 脳卒中：東京都脳卒中急性期医療機関 / t-PA：t-PA対応可能施設 / がん：都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、東京都がん診療連携拠点病院 / 小児がん：小児がん拠点病院、東京都小児がん拠点病院 / 周産期センター：東京都総合周産期母子医療センター、東京都地域周産期母子医療センター / 周産期連携病院：周産期母子医療センターと連携の下、ミドルリスクの妊産婦に対応する病院  
 ※将来的に目標とする病床数は、「公的医療機関等2025プラン」に記載された2025年度の機能別病床数を指す。ただし、公立病院及び公社病院については、「平成29年度病床機能報告」で6年後の病床数として報告された数字としている。